

製品UIマニュアル



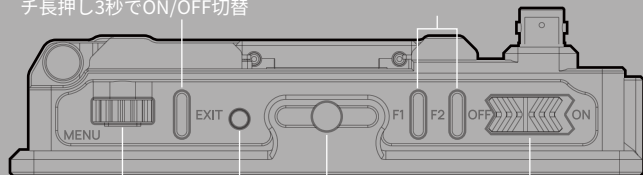
BM5 IV

製品情報



EXIT / タッチスクリーンスイッチ
長押し3秒でON/OFF切替

カスタムファンクションキー (Fキー)



スクロールホイールメニュー

電源インジケータ

1/4"ネジ穴

電源スイッチ

USB-A

1/4"ネジ穴

カメラコントロールインターフェース

REMOTE

5ピンシリアルポート
(TILTA nucleusコントロール)

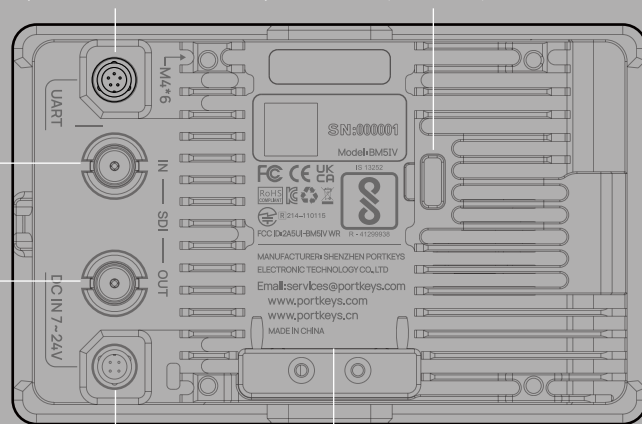
バッテリーロック

SDI 入力

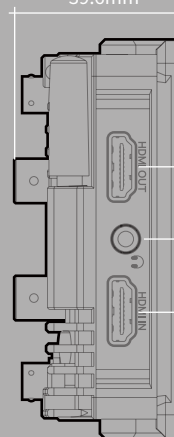
SDI 出力

7~24V電源インターフェース

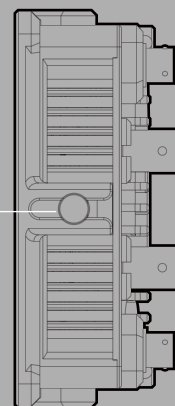
NP-F バッテリープレート

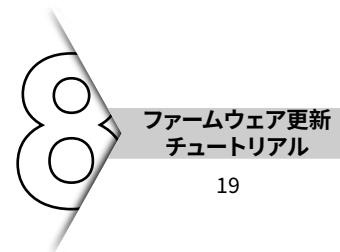
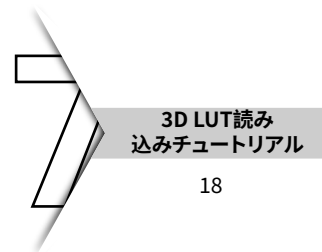
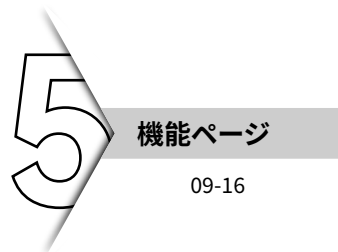


39.6mm



1/4"ネジ穴







初期ページ

モニターの電源を入れると背景画像が表示されます。画面をタップするかボタンを押すとメインメニューが表示されます。

操作説明:

- タッチスクリーン: タップ、長押し、またはスワイプ(上、下、左、右)。
- 外部ボタン: ノブやその他のボタンを使用。



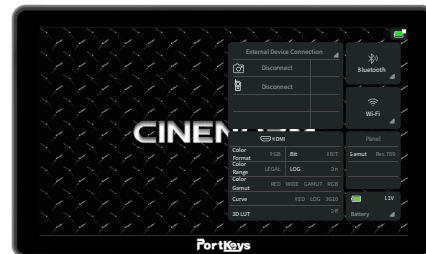
メインメニュー操作

* 手順

画面をタップするかノブを押してメインメニューを開く。

メインメニュー概要:

- バックライト: バーをスライドして画面の明るさを調整。
- ファン: 『 > 』をクリックしてバーをスライドし、ファンスピードを調整。
- 音量: 『 > 』をクリックしてバーをスライドし、音量を調整。
- デバイス接続: 接続状態とモードを表示。
- モニター設定: 画像、パネル、信号の入出力を設定。
- バッテリーアイコン: 現在の状態を表示。
- 機能追加: 機能の表示と追加。
- ヘルプ: ステータスバーに機能アイコン名を表示。
- 機能: リアルタイム監視、調整、撮影画像の最適化に必要な各種ツールを提供。



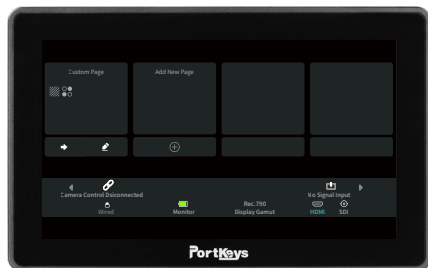
モニター状態

* 手順

右上のバッテリーアイコンをタップ (全ページで利用可能ではありません)。

ステータスバー概要:

- 外部機器接続: 機器の接続状態を表示。
- WiFi/Bluetooth: 表示または長押しで設定へ。
- 信号入力設定: 「モニター設定>入力」で変更可能。
- パネルキャリブレーション情報: キャリブレーション状態を表示。
- バッテリー電圧情報: 「」をクリックして電源モードを切り替え、正確な表示に。



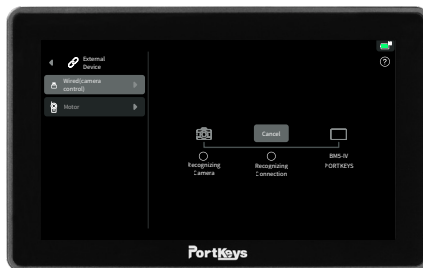
カスタムページ

* 手順

メインメニューから下にスワイプしてカスタムページにアクセス。

カスタムページ概要:

- ページ名:『>C』をクリックして名前を変更。追加した機能はステータスバーに表示。
- ページ管理:複数ページ作成時、名前変更、テンプレート保存、削除、移動が可能。
- デバイス接続モードは左下に表示。クリックで外部機器接続ページへ。
- 信号入力モードは右下に表示。クリックで「システム設定>入力」ページへ。
- バッテリーとカラー設定は下部に表示。



カメラコントロール接続ページ

* 手順

メインメニューページ左の接続アイコン「>」をクリックして入る。

カメラコントロールページ概要:

- 「有線接続:カメラコントロールケーブルを“Camera Remote”ポートに接続し、“Connect”をクリック、カメラブランドを選択(詳細は5ページのチュートリアル)」
- モーター:直接接続して使用可能。



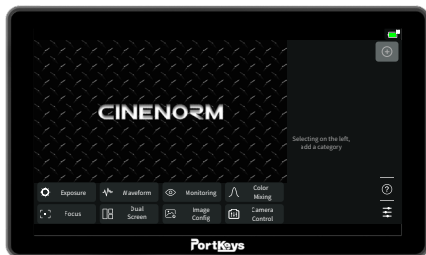
モニター設定ページ

* 手順

メインメニューページ左の設定アイコン「>」をクリックして設定ページに入る

モニター設定ページ概要:

- 画像設定:色と明るさを最適化するために表示設定を調整する。
- パネルキャリブレーション:プリセットおよびカスタムのカラーキャリブレーション。
- 入力:信号ソースを選択し、カメラのLOG設定を構成する。
- 出力:出力信号を管理する。
- 画像反転:画像を水平または垂直に反転させる。
- Fキー プリセット:物理的なFキーにモニター機能を割り当てる。
- システム設定:基本的なモニター設定を調整および管理する。
- ユーザープロファイル:設定をUSB経由で保存またはインポートする。



機能ページ

* 手順

メインメニュー右側の機能アイコン「≡」をクリックする。

機能ページ概要:

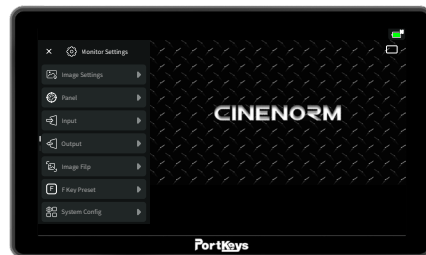
- 露出: 画像の明るさを調整し、露出オーバーの領域を確認する。
- 波形: 露出や色の分布を分析する。
- モニター: 構図補助とリアルタイムの画像チェックを行う。
- カラーキャリブレーション: 画像の色を調整および制御する。
- ピーキング: フォーカス領域を強調して正確なピント合わせをサポートする。
- マルチビュー: 複数の画像ソースを表示する。
- 画像設定: 色と明るさを最適化するために表示設定を調整する。
- カメラコントロール: モニターからカメラを直接操作する。



機能追加

* 手順

アイコン「≡」をクリックして機能追加ページを開く。「露出」内の「ゼブラ」などの機能を選択し、パラメータを調整する。追加後、ステータスバーにゼブラのアイコンが表示される。(詳細なチュートリアルは10ページ)



Fキーとノブのプリセット

* 手順

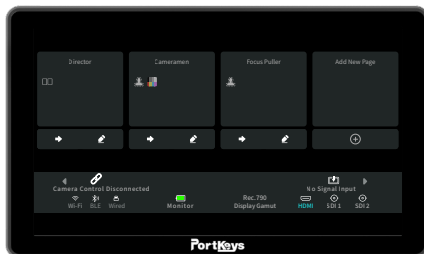
「モニター設定」>「Fキー設定」をクリックして、Fキーに機能を割り当てます。Fキーを押すとアクティブになります。ホイールにも画像またはカメラ制御機能を事前設定できます。



1. メラコントロール

メインメニューから下にスワイプしてカスタムページにアクセス。

カスタムページ切り替えは左右にスワイプ



カスタムページ概要:

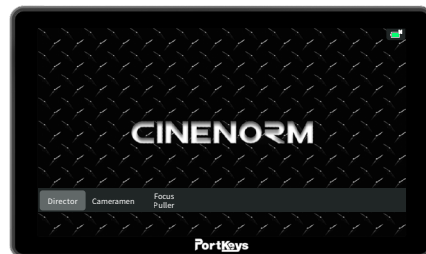
ページ名:『>』をクリックして名前を変更。

2. ページ管理:複数ページ作成時、名前変更、テンプレート保存、削除、移動が可能。

3. デバイス接続モードは左下に表示。クリックで外部機器接続ページへ。

4. 信号入力モードは右下に表示。クリックで「システム設定>入力」ページへ。

5. バッテリーとカラー設定は下部に表示。



3. 機能追加

「⊕」をクリックして、デフォルト設定の新しいページを追加。

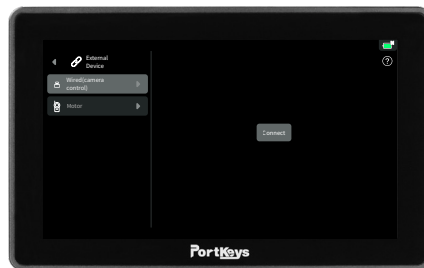
撮影ニーズに基づいてパラメータを調整可能。各ページの設定は独立しており、

異なるシーンや機材に合わせてカスタマイズできます。設定後は、メインメニューで

左右にスワイプするだけでページを素早く切り替え可能。



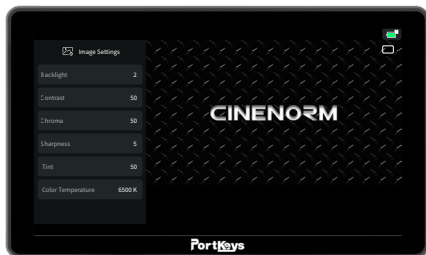
- 1、
Mini USB 10ピンケーブルをモニター下部のCAMERA
REMOTE制御インターフェースに接続し、もう一方を
カメラの制御インターフェースに接続します。



- 2、
メインメニューページで外部デバイス接続アイコン「」
をクリックし、「有線 (カメラ制御)」を選択して「接続
」をクリックします。



- 3、
認識されると、カメラブランドを選択して接続を完了し
ます。



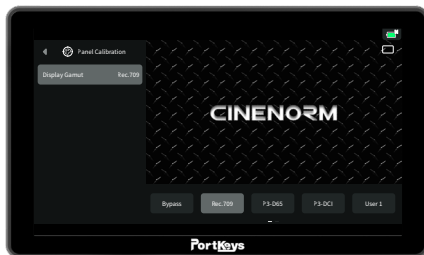
画像設定ページ

色と明るさを最適化するために表示設定を調整する。

* 手順

メインメニュー左側の設定アイコン「」をクリックし、「画像設定」を選択して入ります。

- バックライト: バックライトの明るさを調整。
範囲: 1~10
- コントラスト: 明暗部分のコントラストを調整。
範囲: 0~100
- 彩度: 色の強さを調整。
範囲: 0~100
- シャープネス: 画像のシャープさを調整。
範囲: 0~10
- ティント: 全体的な色調を調整。
範囲: 0~100
- 色温度: 表示の暖かさや冷たさを制御。
範囲: 5500K、6500K、7500K、9300K。
カスタム範囲: 赤・緑・青 (0~255)



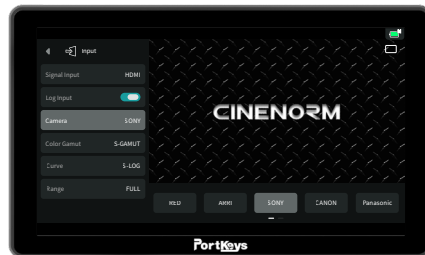
パネルキャリブレーションページ

プリセットおよびカスタムのカラーキャリブレーション。

* 手順

メインメニューの左側にあるアイコン「」をクリックして「モニター設定」に入り、「パネル」を選択します。

- バイパス: すべての色補正と処理を無効にし、調整されていない生信号を表示します。
- REC.709: HDテレビおよびオンラインビデオの標準カラースペースで、主に放送およびHDコンテンツに使用されます。
- P3-D65: 自然なホワイトバランスと豊かな色再現を提供するD65 (6500K) 白点の広色域カラースペース。
- P3-DCI: 映画製作に適したデジタルシネマ規格に準拠した色空間。
- ユーザー: ユーザーの好みに合わせてキャリブレーションされたカスタム色空間。



入力ページ

モニターに正しい信号源を選択し、接続されたデバイスが正しい入力方法を使用していることを確認し、必要に応じてカメラのLOGモードを調整します。

* 手順

メインメニューの左側にあるアイコン「」をクリックして「モニター設定」に入り、「入力」を選択します。

- 入力信号: モニターの入力信号設定を管理。
- 入力LOG: カメラの設定に基づいて適切なLOGモードを選択します。例えば、ソニーのカメラでS-GAMUTカラースペースとS-LOGカーブを使用している場合、モニターもそれに合わせて設定します。モニターのFalse Colorなどのツールは選択したLOG信号に基づいて調整されます。これにより、異なるLOG信号でも正確に映像を確認できます。



出力 ページ

モニターの出力信号を管理・調整し、各種機器との互換性を最適化

* 手順

メインメニューページでアイコン「」をクリックし、「モニター設定」→「出力」を選択してください。

- 出力制御: モニター出力信号の設定管理
- LUT出力機能: 信号出力時に特定のLUTスタイルを直接適用
- 1080P ダウンスケーリング: 1080p信号を低解像度に処理、または単一チャンネル経由で伝送し、特定のデバイス要件に合わせて信号経路を最適化する。
- 3G Level A/B: 高解像度信号を3G-SDIインターフェースで伝送します。Level Aは単一の1080p信号を転送し、Level Bは信号を2つに分割して転送するため、異なるデバイスとの互換性が向上します。
- ディスプレイ同期 (Display Sync): モニター上の画像を接続デバイスと同期させ、表示の遅延やズレを防止します。



画像反転ページ

画像の表示方向を水平方向または垂直方向に調整します。

* 手順

メインメニュー左側のアイコン「」をクリックして「モニター設定」に入り、「画像反転」をクリックして入ります。

- 水平反転: 画像を左右反転。ミラーセットアップに便利。
- 垂直反転: 画像を上下反転。逆さ設置に最適。



Fキー設定

物理ボタンでプリセット機能を素早くオン・オフでき、操作が便利になります。

* 手順

メインメニューページの左側にある「」をクリックしてモニター設定に入り、「Fキー設定」をクリックして入ります。

- プリセット操作: プリセットページでFキーをクリックしてプリセット機能を設定または変更します。交換可能な機能ページが表示されるので、新しい機能をクリックして交換を完了します。
- ホイールプリセット: ホイールプリセットはFキー設定とは異なり、一部の画像設定やカメラ制御機能をプリセットできます。モニターの待機モードでホイールを回すと、プリセットされた機能を調整できます。



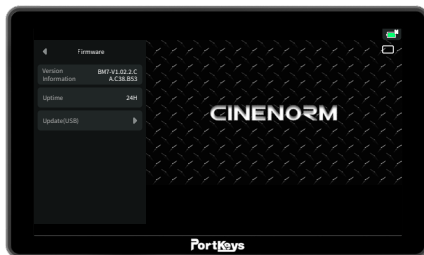
システム構成

基本的なモニター設定を調整および管理します。

* 手順

メインメニューページで設定アイコン「」をクリックし、「システム構成」を選択してアクセスします。

- OSD-言語: 简体中文/繁體中文/English/日本語/Русский/Français/español
- 不透明度: 画面内容の表示を良くするためにメニューの不透明度を調整します。調整範囲: オフ / 低 / 中 / 高
- システムリセット: モニターを工場出荷時設定に戻します。
- ファン調整範囲: 1~10
- カメラ録画開始時にファンを最低速で同期: カメラ録画が開始されると自動的にファンを最低速度に設定し、ノイズを減らします。
- ジェスチャー拡大: 詳細確認のために拡大操作を容易にします。
- 音量調整範囲: 0~10
- SDIタリー: マルチカメラ撮影やライブ配信で使用する映像制作の信号指示システム
- 録画ボタンの位置: カメラ制御録画ボタンの位置を調整します。調整範囲: 左下 / 中央下 / 右下
- ファームウェア: モニターのファームウェアバージョンを確認および更新します。



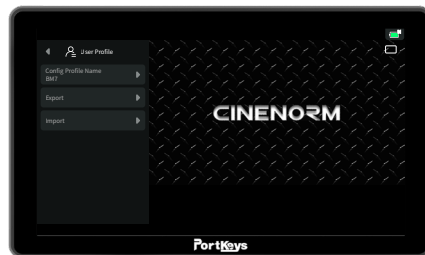
ファームウェアページ

モニターのファームウェアバージョンを確認および更新します。

* 手順

メインメニューページの左側にある設定アイコン「」をクリックしてモニター設定に入り、「システム構成 > ファームウェア」をクリックして入ります。

- バージョン情報: 現在のファームウェアバージョンを確認します。
- 稼働時間: モニターの累積稼働時間を表示します。
- ソフトウェア更新 (USB): USB経由でファームウェアを更新し、モニターが最新のソフトウェアバージョンで動作するようにします。(詳細な手順は19ページを参照)



ユーザープロフィールページ

外部USBを使用してモニターのパラメータファイルを保存またはインポートし、モニターを素早く切り替え、さまざまなパラメータの繰り返し設定を回避できます。

* 手順

メインメニュー画面の左側にあるアイコン「」をクリックしてモニター設定に入り、「ユーザープロフィール」をクリックして入ります。

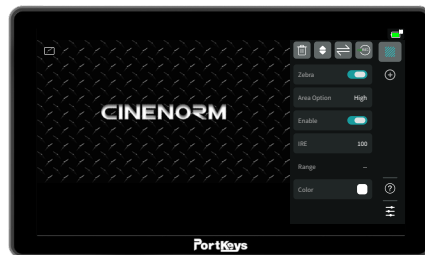
- プロファイル名: 現在のプロファイル名を表示および変更する。
- インポート: 現在の設定を外部ストレージに保存し、モニター変更時に簡単に復元可能。
- エクスポート: 外部ストレージから以前に保存された設定を読み込み、個人設定を迅速に復元。



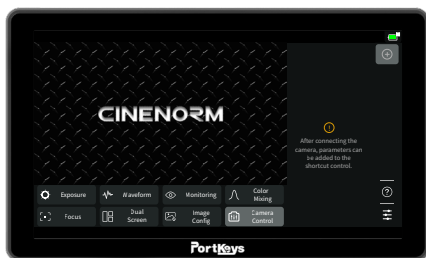
- 1、
メインメニュー画面の右下にある「≡」アイコンをクリックして、機能追加ページに入ります。



- 2、
希望する機能カテゴリを選択します。たとえば、「露出＞ゼブラ」をクリックして調整ページに入り、ゼブラアイコンが右側の機能ステータスバーに表示され、追加に成功したことを示します。



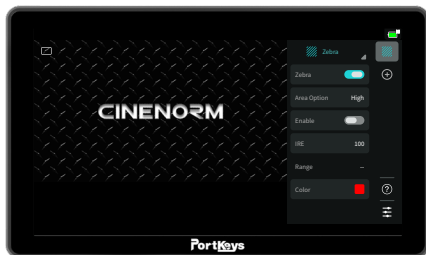
- 3、
パラメータ上部の「≡」アイコンをクリックすると、「削除」「位置調整」「戻る」「録画キーとの機能同期」などのオプションが表示され、機能の調整が可能です。



- 4、
カメラ制御機能を追加するには、カメラの接続が必要です。



- 5、
「⑦」をクリックすると、追加された機能のニックネームを表示できます。



제브라

ゼブラ機能を使用して、画像内の露出オーバーや露出不足の部分をカスタマイズします。

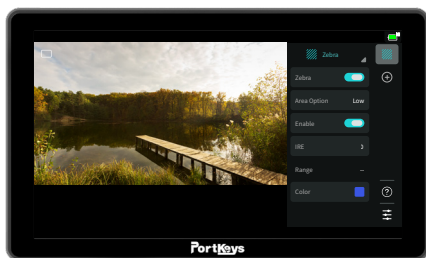
ゼブラとIRE機能:画像の輝度が設定閾値に達すると、その領域にゼブラ模様が表示され、露出オーバーまたは露出不足を示します。

-7 IRE:非常に暗い黒を表し、ほぼ完全な黒に近い

0 IRE:明るさ情報のない完全な黒信号を表す

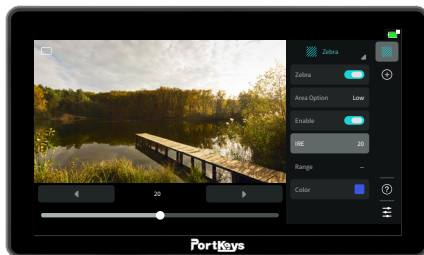
100 IRE:完全な白信号を表し、最大の明るさに達している

100 IRE超:通常の範囲を超える明るさを示し、露出オーバーを意味することが多い

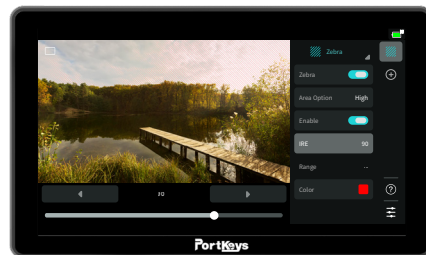


ゼブラ機能クイックスタートガイド

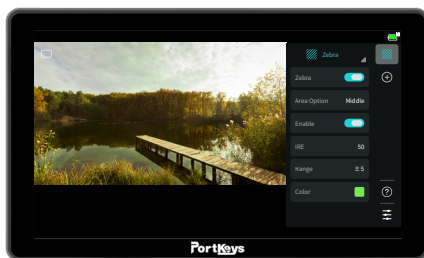
モニター機能メニューで「露出>ゼブラ」を選択します。機能を追加した後、ゼブラを有効にします。撮影の目的に応じて、ゼブララインを「低」「中」「高」の露出領域に表示するかを選択し、重要な部分が正しくマークされるようにします。



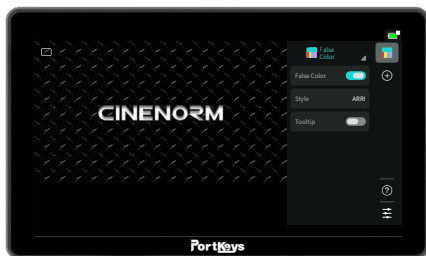
例:露出不足の部分を監視する場合は、エリアオプションで「低」を選択し、IRE値を適切な範囲に調整します。画像にゼブラパターンが現れたら、その部分が暗すぎることを意味します。カメラの設定(例:絞り、シャッタースピード、ISO)を調整し、ゼブラパターンが消えるが減少するまで調整して、画像のディテールを保ちます。



過剰露出の監視:エリアオプションで「高」を選択し、IREの閾値を80~90の間に設定して過剰露出を防ぎます。撮影のニーズに応じて、ゼブラを使って露出の閾値を監視・マークし、画像のフイードバックに基づいてカメラ設定を調整してください。



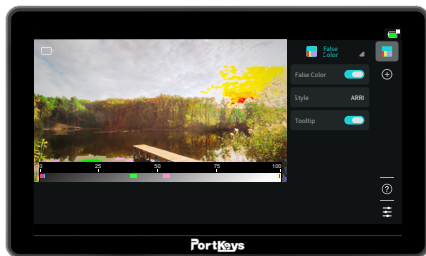
標準露出の監視:エリアオプションで「中」を選択し、IREの閾値を40~70の間に設定します。新しい「レンジ」オプションが表示され、画像内のゼブララインをより正確にコントロールして最適な結果を得ることができます。



フォールスカラー

特定の色を使用して画像の明るさレベルを表示し。

明るさの値によって露出領域を分け、それぞれの色が特定の明るさ範囲に対応しているため、ユーザーは露出オーバー、露出不足、適正露出の領域を迅速に識別できます。

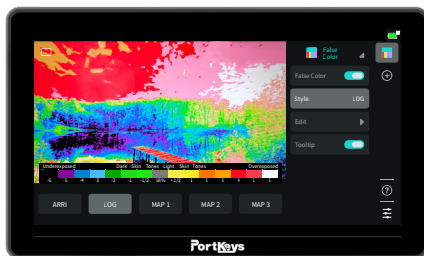


ARRIフェルスカラー：フェルスカラーは、高ダイナミックレンジと正確な露出が求められる映画や広告などのシーンで広く使用されています。これにより、明るさの分布を素早く評価でき、重要な部分での正確な露出を確保します。

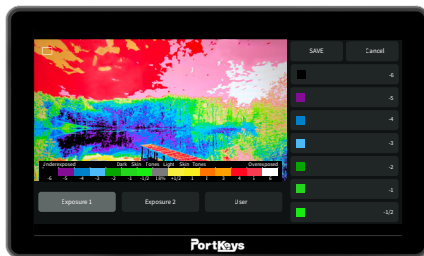
緑色：通常の光を示し、一般的には18%の中間グレーを指します。黄色と赤色：ハイライト領域を示します。黄色は過剰な明るさの警告、赤色は深刻な露出オーバーを意味します。

青色：暗い部分を示します。濃い青は、露出不足に近い既に露出不足の領域を示します。

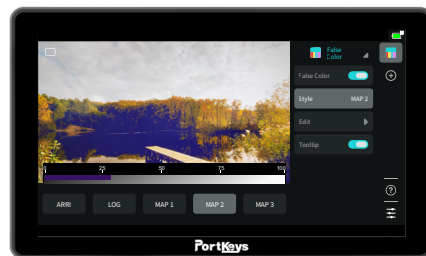
ピンク色：肌のトーンの露出を示し、人物撮影時の適切な露出をサポートします。



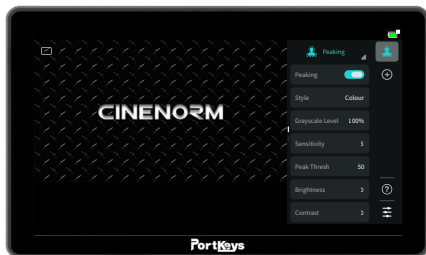
LOGフェルスカラー：LOGガンマカーブ用に設計されたこのモードは、ダイナミックレンジを拡張し、ハイライトやシャドウの詳細をより多く保持するためによく使用されます。標準のフェルスカラーと比較して、LOGフェルスカラーはより詳細な露出ゾーンと細かな露出情報を提供し、正確な明るさ制御が求められるシーンに適しています。



LOGモード認識：モニターは入力信号からカメラモデルとLOGカーブの種類を認識できます。S-LOG、C-LOG、V-LOGなどの特定のLOGカーブの特徴に基づき、モニターはフェイクカラー表示を調整します。LOGフェイクカラーはLOGカーブに応じて異なる明るさと色の範囲をマッピングし、ユーザーは各露出ゾーンの色の反応もカスタマイズ可能です。



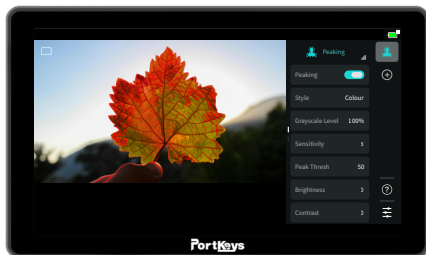
MAP 1：撮影のニーズに応じて、ユーザーはフェルスカラーの設定をカスタマイズでき、異なる色でアンダー露出、通常露出、オーバー露出のゾーンを定義できます。最大15のゾーンと色を追加可能です。フェルスカラーの設定はMAP 1、MAP 2、MAP 3それぞれでカスタマイズできます。



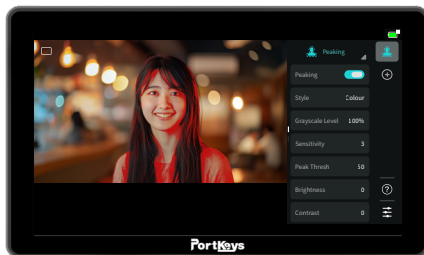
ピーキング

特定の色を使ってフォーカス位置をマークします。

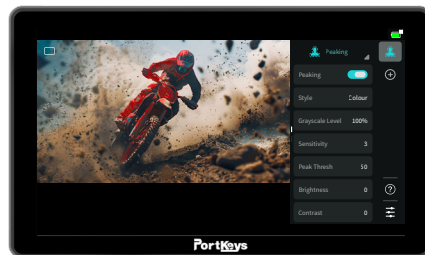
カメラで撮影された画像を解析し、ピーキング機能は各ピクセルの明るさや色を周囲のピクセルと比較します。高コントラストの領域が検出されると、ピーキングはその部分を明るい色で強調表示し、ユーザーが迅速にフォーカスエリアを特定できるようにします。



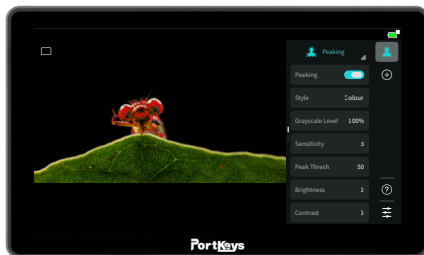
モニター機能 > フォーカス > ピーキングでピーキングを有効にすると、ピントが合っている部分がハイライト表示されます。現在の撮影環境に適したハイライトカラーを選択してください。感度を調整してハイライト範囲を増減させ、その後、フォーカスリングを動かしてリアルタイムでピントを合わせ、目的のフォーカスエリアがはっきりと表示されるまで調整します。



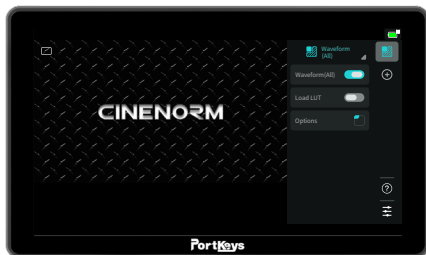
ポートレート撮影: ポートレートを撮影する際、ピーキング機能を使って被写体の目のシャープさを確認できます。フォーカスリングを調整し、目に表示される高輝度のマークが安定していることを確認することで、正確に目にピントが合っていることを示します。



ビデオ撮影: ビデオモードでは、ピーキング機能をFキーに割り当て、素早くオン/オフの切り替えができます。撮影中、特にフォーカスブリーリングや素早い切り替え時に、ピーキングはシャープなピントを維持するのに役立ちます。



マクロ撮影: 小さな被写体を撮影する際、ピーキングは正確なフォーカス位置を特定するのに役立ちます。ハイライトマークを調整して、花の雄しべや昆虫の目など、細かい部分に焦点を合わせてください。

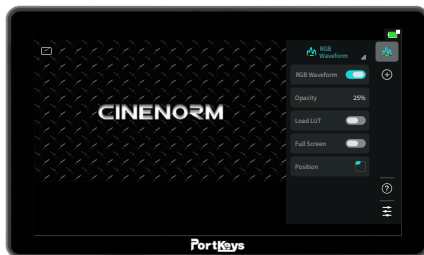


波形(全体)

明るさ、色、音声、および画像のオシログラムを同時表示。

LUT読み込み: ☐ / ☒

オプション: ☐ / ☐



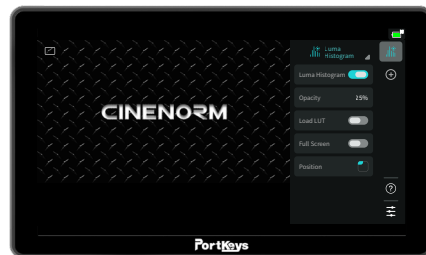
RGB波形

画像の3つのRGB色をドットプロット分布で表示。

透明度: Off/25%/50%/75%

LUT読み込み: ☐ / ☒ 全画面: ☐ / ☒

オプション: ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐



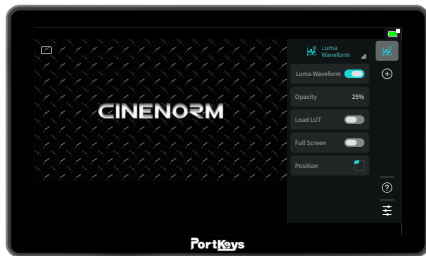
ルマヒストグラム

明るさレベルをブロックプロット分布で表示。

透明度: Off/25%/50%/75%

LUT読み込み: ☐ / ☒ 全画面: ☐ / ☒

オプション: ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐



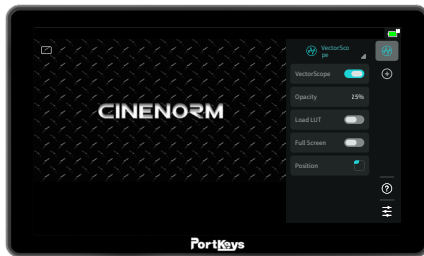
ルマ波形

明るさレベルをドットプロット分布で表示。

透明度: Off/25%/50%/75%

LUT読み込み: ☐ / ☒ 全画面: ☐ / ☒

オプション: ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐



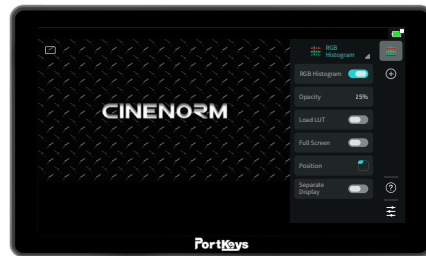
ベクトルスコープ

カラーカードと併用してカメラの色校正に使用可能。

透明度: Off/25%/50%/75%

LUT読み込み: ☐ / ☒ 全画面: ☐ / ☒

オプション: ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐



RGBヒストグラム

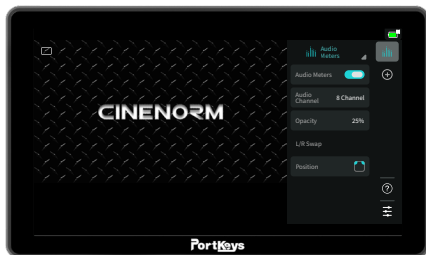
画像の3つのRGB色をブロックプロット分布で表示。

透明度: Off/25%/50%/75%

LUT読み込み: ☐ / ☒ 全画面: ☐ / ☒

オプション: ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐

分離表示: ☐ / ☒



オーディオメーター

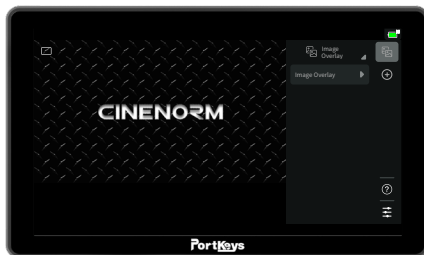
音量レベルをモニター。

オーディオチャンネル:2チャンネル/8チャンネル

透明度:Off/25%/50%/75%

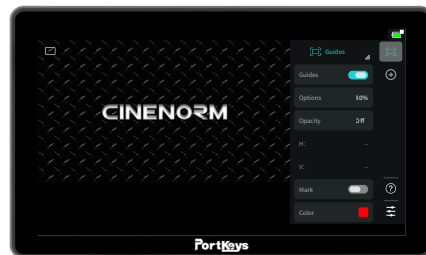
L/R 入れ替え: デュアルチャンネルモード時のみ有効。

オプション:   



画像オーバーレイ

動画に半透明のJPG画像をオーバーレイ表示。
(USBスティックが必要)



ガイド

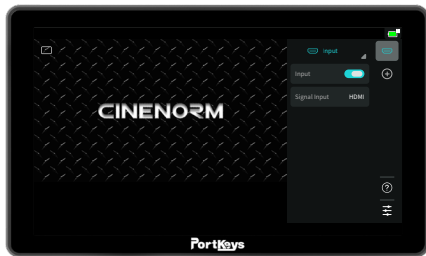
構図やマスキング時に使用。

不透明度:80%/90%/1:1/16:9/9:16/15:9/4:3/1.5:1/
1.85:1/2:1/2.35:1/2.39:1/User

不透明度:オフ/低/中/高

H/V:カスタム設定時のみ調整可能

マーク:   カラー:    



入力

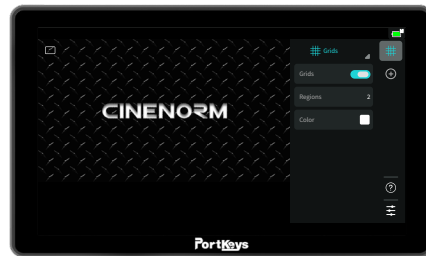
入力信号。

入力信号:HDMI/SDI



画像キャプチャ

動画から単一フレームをキャプチャし、JPG形式でUSB
スティックに保存。(USBスティックが必要)

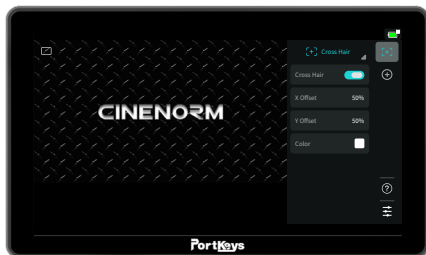


グリッド

9種類のグリッド構図線。

領域:1~9

カラー:   



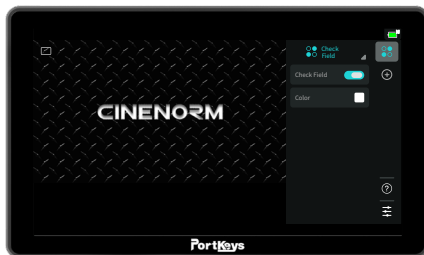
クロスヘア

画像中央の十字マーク。

X オフセット : 0%~100%

Y オフセット : 0%~100%

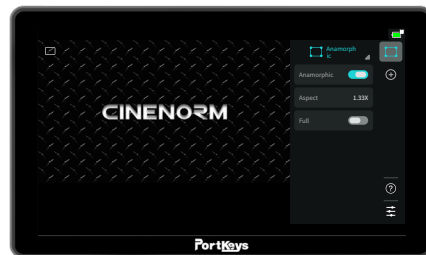
カラー: ☐ / ☐ / ☐ / ☐



チェックフィールド

赤、緑、青、白の4色単色画面。

カラー: ☐ / ☐ / ☐ / ☐



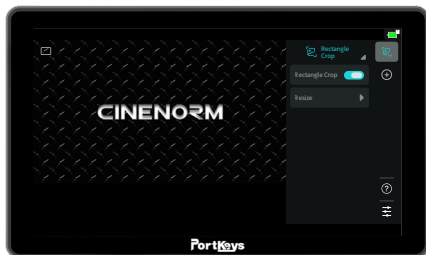
アナモルフィック

アナモルフィックデスクイーズ

アスペクト: 1.33X/1.42X/1.50X/1.60X/1.66X/1.80X/

1.85X/2.00X/2.35X/사용자

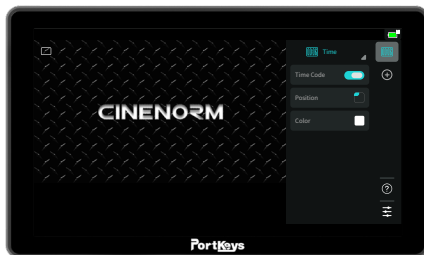
全体: ☐ / ☒



長方形クロップ

任意に長方形を切り抜き、全画面表示。

リサイズ: 切り抜き枠の位置、幅、高さを水平・垂直に調整。



タイムコード

HDMIおよびSDI動画のタイムコードを表示。

위치: ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐ / ☐

カラー: ☐ / ☐ / ☐ / ☐



画面オフ

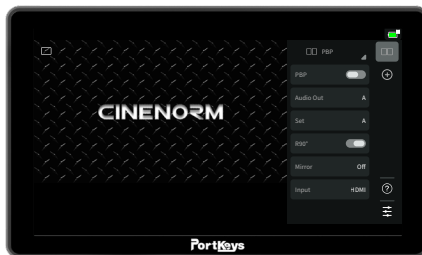
スタンバイモードに入り、任意の物理キーを押して復帰。



3D LUT

画面色補正LUTおよびスタイリングLUT。

ユーザー保存: モニター内に保存されたLUTファイル。
 USBスキャン: USBスティックからモニターにLUTをインポートし、ユーザー保存からアクセス可能。
 LUT適用前の状態に画像を戻す。(詳細は19ページ参照)



PBP

水平および垂直方向に2つの画像を同時表示。

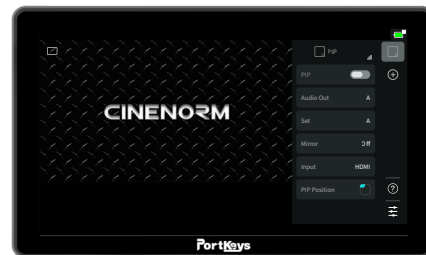
オーディオ 출력: A/B

설정: A/B

R90°: ☐ / ☒

미러링: 끄/수평/수직/전체

입력: HDMI/SDI



PIP

水平および垂直方向に2つの画像を同時表示。

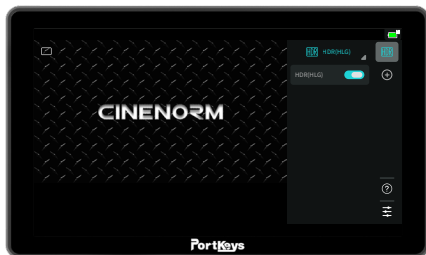
オーディオ出力: A/B

설정: A/B

미러: 오프/H/V/全て

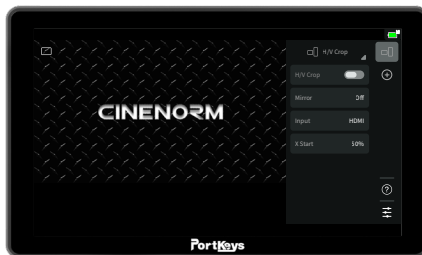
입력: HDMI/SDI

PIP 위치: ☐ / ☒ / ☐ / ☐



HDR(HLG)

HDR은更多的 음영 및 휘도 디테일을 표시합니다.



H2V Crop

水平画像1枚と垂直画像1枚をクロップして表示。

미러: 오프/H/V/全て

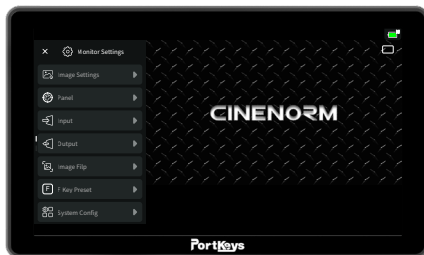
입력: HDMI/SDI

X스타트: 水平方向의 垂直크롭調整..



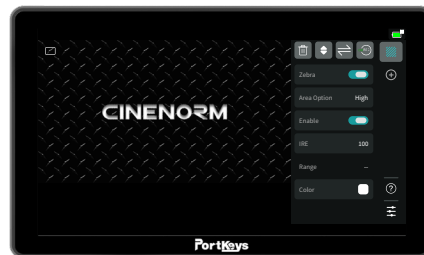
카메라 제어

カメラコントロール クイックセーブ to Fキー:カメラコントロール機能をFキーに保存するには長押し。例えばシャッター機能選択後、外部ボタンF1-2を長押しし、カウントダウン終了で保存完了。



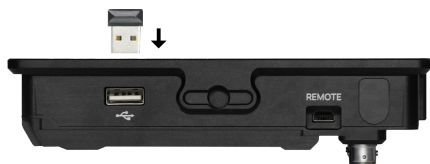
大画面と小画面の切り替え

操作中、画面左上または右上に「ズームイン」または「ズームアウト」アイコンが表示され、表示画像のサイズ調整が可能。

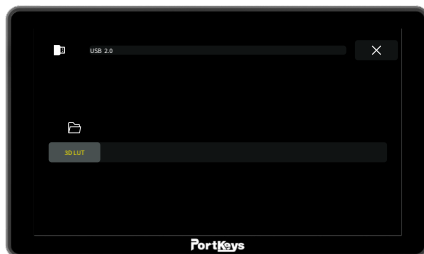


ツール切替を録画ボタンに割り当て

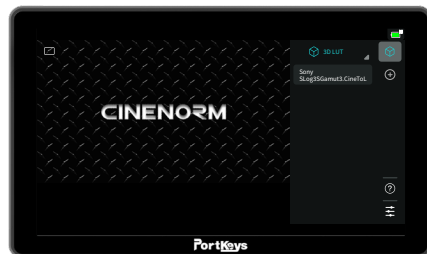
操作手順は10ページを参照してください。録画ボタンに割り当てた後、録画が開始されるとモニター機能が有効になります。(現在の操作に対応していない機能の場合、機能アイコンに黄色の感嘆符が表示されます。)



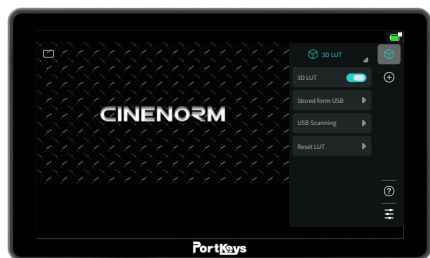
- 1、アップデートファイルが入ったUSBスティックをモニターのUSBポートに挿入してください。



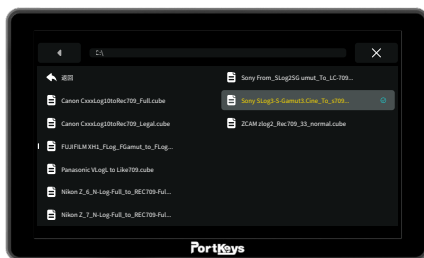
- 3、"3D LUT"フォルダをクリックし、フォルダを開いてLUTファイルにアクセスしてください。



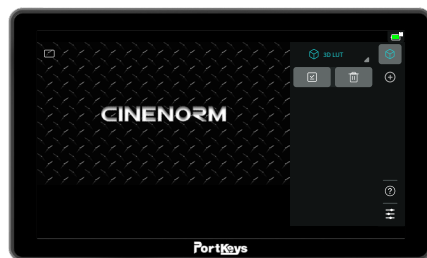
- 5、3D LUT > ユーザー保存 (User Storage) で、インポートしたLUTファイルを確認できます (LUTファイルはモニターに何度でも保存可能です)。



- 2、「機能」>「ハカラーグレーディング」>「3D LUT」>「USB 検索」で、USBスティックに保存されているLUTファイルを検索するためにクリックしてください。



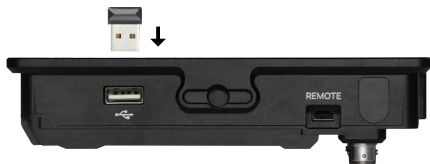
- 4、保存したいLUTファイルをダブルクリックしてください。進行状況バーが完了するまで待ち、「完了」マークが表示されれば、インポートが成功したことを示します。



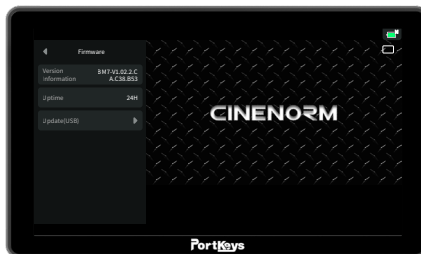
- 6、LUTファイルをクリックして、「完了」 LUTを適用 (Apply LUT) または「完了」 LUTを削除 (Delete LUT) を行います。



1、
公式サイト (portkeys.shop) から対応するファームウェアアップデートパッケージをダウンロードし、メインのファームウェアアップデートファイルを解凍して、USBスティックのルートディレクトリに転送してください。



2、
ファームウェアアップデートが入ったUSBスティックをモニターのUSBポートに挿入します。



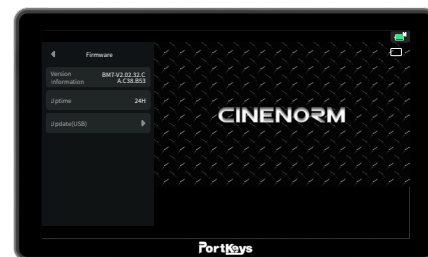
3、
モニター設定 Ⓔ システム構成 > ファームウェア Ⓔ > USBソフトウェアアップデート に移動し、「はい」をクリックしてファームウェアのアップデートを開始します。



4、
「はい」を選択してください。



5、
ファームウェアの更新には数分かかります。完了すると、モニターの画面が消え、設定アップグレード状態に入ります。(アップデート中は電源を切らないでください)



6、
アップデートが完了したら、ファームウェアのページでバージョンを確認し、最新であることを確認してください。